

# シネマズライフ

2013年12月20日発行 第53号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかぎ りおん 貴樹 諒音

【最近のこれはお見事！】

『鑑定士と顔のない依頼人』

偏屈な鑑定士が遭遇する奇妙な依頼人とは？『顔のない...』が言いえて妙だ。

【最近のこれはまずいぞ！】

『地球防衛未亡人』 エロスの女王を突つ走る壇蜜主演第三弾！エロ姉さんから脱皮する為にも大事な作品では？しかし、この題名は...どうよって。ま、内容が相変わらずエロいからいいか笑

## 映画の風景 日本の風景

※ 東京スカイツリー ※



昔・『SUPER 8/スーパーエイト』という映画があった。こんな映画だ。

79年・夏。母を事故で亡くしたジョーは、仲間と8ミリ映画を撮る事が唯一の慰めだった。その5人の仲間の中には、容かに愛してるアリスもいる。真夜中、近くの駅で撮影をしていた時、突然！貨物列車が爆発。激しい火災の中、6人は無事だったが、事故は学校の生物教師であるウッドワードが列車にぶつかったところから始まった。ウッドワードは彼らに「お前たちが見た事は決して誰にも話さない」という。

大勢の軍も駆けつけ、彼らは理由もわからぬまま逃げ出す。が実は彼らの撮った8ミリにはとんでもないものが映っていた。

一方、軍は現場に8ミリの空箱を発見、その持ち主を探し始める...

映画の後半、宇宙に帰りたいモンスターは、小さな町に巨大な塔を立てる。自分の故郷に帰る為に炎死に立っているのだが、妙に美しく悲しい。人類の知恵を結集して作られ、12年に完成した『東京スカイツリー』は悲しくはない。日本中の期待を一身に浴びた『東京スカイツリー』はやはり美しい。

『SUPER 8/スーパーエイト』2011年 アメリカ 制作：スティーヴン・スピルバーグ 監督：J・J・エイブラムス 出演：ジョエル・コートニー・エル・ファンングカイル・チャンドラー・ライリー・グリフィス・ライアン・リー

SF映画でありながらノスタルジックな雰囲気好評だった。スピルバーグ監督の子供の頃の体験が色濃く残っているのだろう。



芦屋川の桜 散歩中の桜もこんな感じ

お菓子で作った本！  
しかし、【食博】はねえ〜...



去年は、一年間何かが壊れまくり、今年はずいぶん体が壊れまくりが壊れてはいないが(笑)、前半はドライアイをきつかけに「人間ドック」に入ったり、歩きは始めたり大騒ぎに。ついでに気分的な事もあるのか腸の悪いのがふり返してしまっただ。しかし、玉ねぎと野菜サラダと暖かいお茶で調子を取り戻し、歩き始めるとさすがに

コラム  
今年はずいぶん感じたよな...

黒部ダムの  
二重の虹はやっぱりきれいだった。！



体重が減り血液検査の数値がよくなった。私も老境の域に片足を突っ込み始めた時期。体調には気にしなければならぬ年になったのね。いやはや年を取るとは恐ろしい。これからは、体のメンテナンスはしっかり続けたいと思いませんね。



！やっぱりいい年になったら調べとくべきですね。

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。





